

衆議院財務金融委員会経済産業委員会連合審査会ニュース

H23.8.3 第177回国会第1号

8月3日(水) 第1回の連合審査会が開かれました。

1 財政及び金融に関する件(円高問題等)

- ・野田財務大臣、海江田経済産業大臣、自見国務大臣(金融担当)、五十嵐財務副大臣、池口国土交通副大臣及び政府参考人並びに参考人に対し質疑を行いました。

(参考人) 日本銀行総裁 白川方明君

(質疑者及び主な質疑内容)

今井雅人君(民主)

- ・現在の円高が我が国経済及び物価の安定に与える影響について伺いたい。
- ・現在の円高の要因として、最近の米国の連邦債務上限引上げ問題だけでなく、米国の量的緩和政策、我が国の経常収支黒字等が考えられるのではないか。
- ・現在の円高を是正するためには、為替介入だけでなく、財政政策、外交交渉及び金融緩和も駆使した対策が必要であると思われるが、野田財務大臣及び白川日銀総裁の見解を伺いたい。

北神圭朗君(民主)

- ・今回の円高の原因や産業空洞化問題を踏まえると、市場介入だけでなく、金融緩和をはじめとした総合的経済対策を講じることが必要と考えるが、白川日銀総裁の見解を伺いたい。
- ・企業の供給力強化のため、法人税減税が必要と考えるが、東日本大震災の復興財源のための増税の対象になることはないのか、野田財務大臣の見解を伺いたい。

山本幸三君(自民)

- ・為替レート決定に係る短期的要因、中期的要因及び長期的要因としてどのようなものが考えられるか、野田財務大臣、海江田経済産業大臣及び白川日銀総裁に伺いたい。
- ・現在の円高傾向を是正するためには、過去の円高是正対策に比肩する規模の対策が必要ではないか。
- ・欧米の中央銀行と比較して消極的な金融緩和政策など、近年の日銀の金融政策が現在の円高の一因であると考えられるが、白川日銀総裁の見解を伺いたい。

西村康稔君(自民)

- ・政府は東日本大震災直後に協調介入を行ったにもかかわらず、なぜ今回はまだ介入しないのか、野田財務大臣の見解を伺いたい。
- ・原発が停止した場合、化石燃料への代替に伴う石油石炭税の増収分はスマートグリッドや蓄電池など、新しいエネルギーの開発支援に使うべきと考えるが、海江田経済産業大臣の見解を伺いたい。

竹内讓君(公明)

- ・東日本大震災に伴う経済危機の本質及びリーマンショックとの違いについて海江田経済産業大臣に伺いたい。また、東日本大震災に係る復興需要により、日本経済は回復していくと考えているか。
- ・原子力発電所の再稼働についての海江田経済産業大臣の見解を伺いたい。

稲津久君(公明)

- ・ドル安の要因及び米国の財政状況について野田財務大臣はどう見ているか。財政の悪化は先進国共通の課題であり、日本の財政も決して良くはない。中期的には円が売られ、円安となる可能性もあるのではないか。
- ・円高により燃料価格の高騰は緩和されているが、今後は円が売られる可能性もあるため、今こそ燃料価格高騰に対し、しっかりとした対策を行うべきではないか。

佐々木憲昭君(共産)

- ・円高により大企業が下請け単価の切り下げや雇用調整をした場合の中小企業への影響を海江田経済産業大臣はどのように認識しているか。
- ・購買力平価の意味及び現時点での購買力平価による円とドルの交換レートはどのくらいか。
- ・米国を中心として為替市場における投機的取引を規制する動きがあるが、我が国はどのように対応するつもりなのか自見金融担当大臣に伺いたい。

山内康一君(みんな)

- ・野田財務大臣は、財務省による為替介入に効果があると認識しているのか。短期的に効果があるとしても、為替差損により膨大な国民負担が発生するのではないか。

- ・デフレや円高状況が続いているが、日本銀行のパフォーマンスについて、白川日銀総裁は自身でどのように評価しているのか。